

2019年1月13日

HACCP 導入の目的と衛生管理方針

農場 HACCP(Hazard Analysis and Critical Control Point)とは
危害要因(微生物、化学物質、異物など)を防止するための重要管理点を定め、継続的に監視・
記録を行うことにより農場段階で危害要因をコントロールする手法です。

目的

- 1、私たちは安全な種豚を安定的に供給することで、ゴールデンポークやスーパーゴールデンポークの生産性向上に貢献します。
- 2、私たちは疾病を最低限に抑えることで薬剤使用を少なくし、安全で安心な豚肉を提供します。
- 3、私たちは食肉としての安全性を確保し、原材料と工程を管理するために農場 HACCP を導入いたします。

衛生管理方針

- 1、私たちは、お客様に安全な豚肉を提供し、安心して食していただくことで社会に貢献いたします。
- 2、私たちは、農場 HACCP 認証基準に基づいた衛生管理システムを構築し、維持し、継続的改善を行い、必要に応じて更新することに努めます。
- 3、私たちは、生産する豚肉の安全性を確保するため、法令・条例・規制の遵守及び各種の研修会への参加や外部・内部コミュニケーション活動を行い、知識の向上に努めます。

これからの取り組み

- ・2018年7月 (株)埼玉種畜牧場 鳩山牧場 農場 HACCP 認証へ向けた取り組みを開始

サイボクグループでの取り組み

- ・2014年8月 (株)サイボク 東北牧場 農場 HACCP 認証に登録
- ・2018年3月 (株)サイボク 東北牧場 JGAP 取得

農場HACCP推進農場指定書

指定年月日 平成30年6月29日

指定番号 豚-119号

株式会社埼玉種畜牧場 鳩山牧場 様

施設名 株式会社埼玉種畜牧場 鳩山牧場

代表者名 笹崎 静雄

所在地 埼玉県比企郡鳩山町竹本 1340

対象家畜 豚

上記者は、農場HACCP推進農場指定要領に基づく審査の結果、「農場HACCP推進農場」として指定します。

有効期間：平成30年6月29日～平成32年6月29日

公益社団法人中央畜産会

会長 森山 裕

